

問1 中国・四国地方の3つの都市における降水量の特徴について説明した次の文章のうち、瀬戸内の気候（広島など）に該当するものはどれですか。（2021年 埼玉県公立入試 類似）

- 年間降水量が約1500mmと比較的少なく、夏・冬ともに極端な多雨にならない。
- 12月から2月にかけての冬季の降水量が約400mmと、他の時期に比べて多くなる。
- 7月から9月にかけての降水量が約960mmに達し、年間を通じて降水量が非常に多い。
- 1年を通じて降水量が極めて少なく、冬の冷え込みが非常に厳しい中央高地の特色を持つ。

問2 中国・四国地方の統計において、広島県、山口県、香川県の3県を比較した際、広島県にみられる統計上の特徴として最も適切な説明はどれですか。なお、広島県は他の2県と比較して人口規模が最も大きいものとします。（2023年 青森県公立入試 類似）

- 国際的な知名度が高い世界文化遺産が複数存在するため、外国人宿泊者数が他の県に比べて突出している。
- 本州の最西端に位置する交通の要所であるため、貨物輸送量と第2次産業の就業者比率が全国1位である。
- 日本で最も面積が小さい県でありながら、ため池を活用した稲作とオリーブなどの果実産出額が3県の中で最大である。
- 広大な平野を利用した野菜栽培が盛んであり、近隣の近畿地方へ向けた近郊農業が産業の中心となっている。

問3 愛媛県南西部の宇和海沿岸に見られる、海岸線が複雑に入り組んだ地形の名称と、その入り江の特性を活かして盛んに行われている産業の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2020年 千葉県公立入試 類似）

- 「リアス海岸」と呼ばれ、波が穏やかな入り江を利用した魚介類の養殖業
- 「砂州」と呼ばれ、内側に広がる浅瀬を利用したのりの養殖業
- 「干拓地」と呼ばれ、海を埋め立てた広大な平地を利用した稲作
- 「扇状地」と呼ばれ、水はけの良い緩やかな傾斜地を利用した野菜の栽培

問4 香川県高松市を含む瀬戸内地域では、他の地域に比べて年間の降水量が少なく、古くから農業用水を確保するために「ため池」が多く作られてきました。このように降水量が少なくなる地理的な理由として、最も適切な説明はどれですか。（2026年 高知公立入試 類似）

- 北側の中国山地と南側の四国山地によって、夏と冬それぞれの季節風が運ぶ湿った空気がさえぎられるため
- 対馬海流の影響を強く受け、年間を通じて高気圧に覆われる日が多く、上昇気流が発生しにくいいため
- 冬の北西の季節風が非常に強いものの、日本海側で水分をすべて放出した後の冷たく乾燥した空気が直接流れ込むため
- 太平洋側から吹き込む夏の季節風が、四国山地を越える際にフェーン現象を引き起こして気温が急上昇するため

問5 1988年に、岡山県と香川県を結ぶ瀬戸大橋が開通したことによって生じた交通体系の変化として、最も適切な説明はどれですか。（2020年 千葉県公立入試 類似）

- 本州と四国が陸上で結ばれたことにより、移動時間が大幅に短縮され、人や物の流れが活発になった。
- 本州と四国間の物流が鉄道から航空路へと完全に移行し、瀬戸大橋は観光専用の道路となった。
- 海上の視界が改善されたことでフェリーの運航本数が大幅に増え、陸上交通との競争が激化した。
- 四国地方から本州への人口流出を抑えるため、あえて移動時間がかかるような道路設計がなされた。

問6 地形図上に引かれた二地点間の高低差を垂直方向の断面で示したものを断面図といいます。標高332.4mの高尾山があるA点から、等高線のほとんどない境港港付近のB点に向かって直線を引いたとき、その直線上における地形の断面の様子を説明したものと最も適切なものはどれですか。（2017年 和歌山公立入試 類似）

- A点付近は標高が高く斜面が急で、B点に近づくにつれて標高が下がり平坦になる。
- A点からB点に向かって、中央部が大きく凹んだ盆地のような形状が続く。
- A点付近は平坦な土地が広がり、B点に近づくにつれて標高が高く斜面が急になる。
- A点からB点まで、標高の変化がほとんど見られない一定の高さの台地が続く。

問7 香川県を含む四国地方では、本州四国連絡橋の整備によって地域経済や人々の生活が大きく変化しました。1980年代後半以降、香川県への観光客の交通手段が船舶から自動車へと劇的にシフトした最大の要因として、最も適切な記述はどれですか。（2017年 富山県公立入試 類似）

- 瀬戸大橋の開通によって、本州と四国が道路で直接結ばれたため
- 高松空港の整備により、全国からの航空路線の便数が増えたため
- 瀬戸内海での船舶事故を防ぐため、定期船の運航が全面的に廃止されたため
- 鉄道の高速化が進み、寝台特急などの利用者が増えたため

答え合わせ・解説

問1	答え 1 年間降水量が約1500mmと比較的少なく、夏・冬ともに極端な多雨にならない。	瀬戸内地方は、北側に中国山地、南側に四国山地が位置しているため、夏と冬の季節風がそれぞれ山地に遮られます。その結果、年間を通じて降水量が少なく、晴天の日が多いのが特徴です。他の選択肢にある「冬季に降水量が多い」のは日本海側、「夏から秋にかけて降水量が突出して多い」のは太平洋側の気候の特色です。
問2	答え 1 国際的な知名度が高い世界文化遺産が複数存在するため、外国人宿泊者数が他の県に比べて突出して多い。	中国・四国地方の統計比較において、広島県は地方中心都市である広島市を抱えるため人口規模が大きく、さらに厳島神社や原爆ドームといった世界遺産を有することから、外国人宿泊者数が他の県よりも多くなる傾向があります。香川県は面積が最小で、果実栽培（みかんやオリーブ）や漁業（ハマチ養殖など）に特色があり、山口県は重化学工業や下関のふぐなどの水産業に特徴があります。
問3	答え 1 「リアス海岸」と呼ばれ、波が穏やかな入り江を利用した魚介類の養殖業	宇和海沿岸や三陸海岸、志摩半島などに見られる複雑な海岸線をリアス海岸と呼びます。この地形は山地が沈水して形成されたため、奥行きのある深い入り江が多く、外海の影響を受けにくいいため波が穏やかです。この特性を活かし、愛媛県では真珠やタイ、ハマチなどの養殖業が古くから発展してきました。
問4	答え 1 北側の中国山地と南側の四国山地によって、夏と冬それぞれの季節風が運ぶ湿った空気がさえぎられるため	瀬戸内の気候の最大の特徴は、二つの山地に挟まれているという地形にあります。夏は太平洋からの湿った季節風が四国山地に、冬は日本海からの湿った季節風が中国山地にそれぞれ遮られます。風が山を越える際に斜面で雨や雪を降らせるため、山を越えて瀬戸内側に吹き下ろす空気は乾燥します。これにより、年間を通じて降水量が少なく、晴天の日が多い温暖な気候となります。
問5	答え 1 本州と四国が陸上で結ばれたことにより、移動時間が大幅に短縮され、人や物の流れが活発になった。	1988年に開通した瀬戸大橋は、本州（岡山県）と四国（香川県）を道路と鉄道の併用橋で結びました。これにより、それまで船舶に頼っていた交通が陸上交通へと転換され、移動時間の劇的な短縮が実現しました。その結果、経済活動や生活圏の拡大など、地域間の交流が非常に活発になりました。
問6	答え 1 A点付近は標高が高く斜面が急で、B点に近づくにつれて標高が下がり平坦になる。	地形図において等高線の間隔が密である部分は傾斜が急であることを示し、間隔が広い、あるいは等高線がほとんどない部分は平坦な土地であることを示します。標高約332mの山地であるA点から港のあるB点へ向かう場合、断面図では始点が高く、終点に向かって急激に下がり、その後、海に近い平坦な線が描かれることとなります。
問7	答え 1 瀬戸大橋の開通によって、本州と四国が道路で直接結ばれたため	1988年の瀬戸大橋開通は、香川県坂出市と岡山県倉敷市を陸路で直結させました。それまでは船舶による移動が不可欠でしたが、橋の完成により自動車（自家用車や観光バス）で直接四国へ渡ることが可能になり、交通の利便性が飛躍的に向上したことが、観光客の交通手段が変化した直接の理由です。